



教育目標：学びを未来につなぐ

R6重点テーマ：自己肯定感の向上

- 重点目標：①安心できる人間関係、学級・学校づくり ②基礎学力の定着
③教育公務員としての専門性の向上
④保護者、地域、関係機関との連携強化

北海道教育の基本理念：
「自立」「共生」

オホーツク管内教育推進の重点：
「新たな価値を創造し
未来を切り拓く子どもの育成」

紋別市の教育目標：
「生きがいと夢を紡ぐ教育」

つむぐ かかわる はぐくむ いきる

保護者・地域の願い：
世界で活躍する人材を輩出する学校
子どもの居場所となる学校
他校種とつながる学校
保護者・地域住民が来やすい学校

生徒の思い（生徒会スローガン）：
「カルセドニー」～思いやり、自信

目指す生徒像：志を持ち努力する生徒 和を大切に行動する生徒 心を拓き成長する生徒

学び合い

磨き合い

高め合い

- 具現化のための取組
- ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」を意識した授業展開
 - ・生徒の活動時間の保障による生徒が主語となる授業の実現（生徒＞教師）
 - ・思考力・判断力・表現力の育成を目指した紋中スタンダードの定着
 - ・ICT機器（タブレット端末）の適切な活用
 - ②自ら学ぶ意欲を高める指導
 - ・家庭学習習慣の定着（タメベン、家庭学習の手引、CBS）
 - ・校内研修等の充実による教師の指導力向上

- 具現化のための取組
- ①生徒一人一人を大切にした教育活動
 - ・傾聴・受容・共感に基づく生徒理解
 - ・いじめの積極的認知、発達支持的生徒指導（ピアサポート）
 - ・特別支援教育、通級指導の充実
 - ②一人一人が活躍できる場や機会の設定
 - ・学級、学校行事、生徒会活動での話し合い活動
 - ③不登校生徒への対応
 - ・生徒に寄り添った支援と保護者との連携
 - ・SC、SSW、教育支援センター等関係機関との連携

- 具現化のための取組
- ①生徒が主体的に取り組む授業
 - ・体育授業の工夫（運動量の確保）
 - ・ふるさと教育、キャリア教育、主権者教育
 - ・魅力ある部活動の運営、拠点校方式に向けた取組
 - ②「自分」や「命」を大切に作る指導
 - ・交通安全、非行防止、性の多様性等関係機関との連携授業
 - ・SNS、メディア等の情報モラル教育
 - ③基本的な生活習慣の定着
 - ・家庭と連携した望ましい生活習慣の確立
 - ・健康教育の充実

- 具体的評価指標（R5→R6）
- ①「授業がよくわかる」 …70→80%
 - ②「学校に来るのが楽しい」 …69→80%
 - ③「家庭学習を1時間以上している」 …57→70%
 - ④全国学力調査、CRTにおける各教科正答率…全国比100以上

- 具体的評価指標（R5→R6）
- ①「自分には良いところがある」 …75→85%
 - ②「先生が自分の良いところを認めてくれる」 …81→90%
 - ③「いじめは絶対に許されない」 …74→85%
 - ④Q-Uテストの結果、学級満足群の生徒の割合 …47→55%

- 具体的評価指標（R5→R6）
- ①「朝食を毎日食べる」 …83→90%
 - ②「自分と違う意見について考えるのは楽しい」 …75→85%
 - ③「地域や社会のために何かしてみたい」 …63→75%

目指す教師像(キーワード)：
人間性…生徒第一主義 専門性…「教えるプロ」 同僚性…誇れる学校

目指す学校像：
生徒にとって わかる喜びとできる楽しさを実感できる
保護者・地域にとって 信頼関係で結ばれている
教職員にとって 地域とともに歩み 地域が誇れる

他校種との連携：出前授業 CBS(超勉強週間(習慣)) 授業参観
交流授業 体験入学 キャリア教育 不登校対策 学力向上の取組 等

PTA・CS・地域との連携：情報発信 オープンスクール
学校行事への協力 紋育バンク 出前授業 キャリア教育
学校運営協議会 等

働き方改革の視点：「自分事」「自走するチーム」「地域との協働」
アクション・プラン第3期の取組～ICT活用による効率化、部活動指導負担軽減、メンタルヘルス、学校を応援・支援する体制